

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年9月18日

【2018年9月8日～2018年9月14日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。大統領選挙の最新の世論調査において、投資家が歓迎する候補者の支持率が伸び悩んでいることなどがこうした動きの背景となりました。

経済指標では、小売売上高などの発表がありました。小売売上高は市場予想に反して前月比、前年比ともにマイナスとなりました。

大統領選挙に関しては、調査会社データフォリア、イボペから最新の世論調査がそれぞれ公表されています。いずれの調査においても、現在支持率トップを走るボウソナロ氏がさらに支持を伸ばし、シロ・ゴメス氏らが後を追う状況となっています。また、市場からの支持が厚いアルキミン氏は10%前後の支持率にとどまっています。とはいえ遊説中に刺され現在入院中のボウソナロ氏は選挙活動を行える状況にはない模様で、選挙戦の動向には依然として不透明感が残ります。

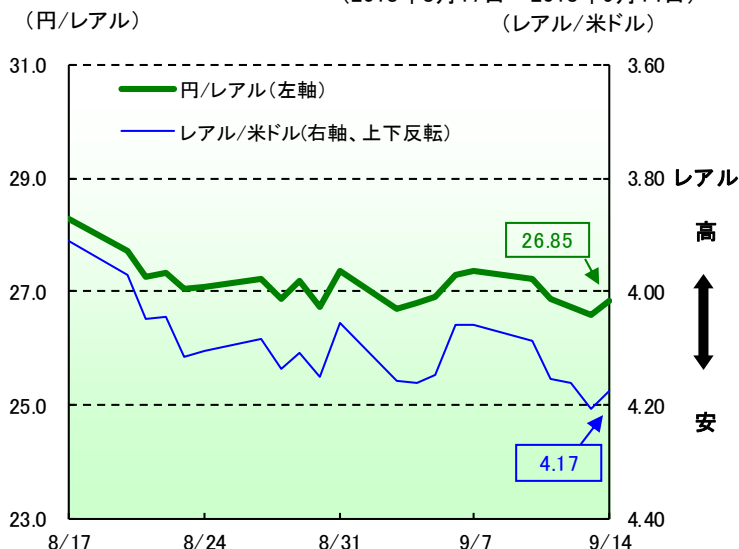
【2】今週の見通し

今週は、インフレ率などの経済指標が公表される予定です。また、ブラジル中央銀行からは政策金利の発表が予定されていますが、市場では据え置き予想が大多数となっています。

大統領選挙に関しては、複数の調査会社から最新の世論調査が発表されるほか、テレビでの討論会も予定されています。第1回投票まで1カ月を切る中、ルラ氏の支持票がどの候補者に流れるかには注目が集まります。ルラ氏の出馬が認められなかったことを受けて、PT(労働者党)は候補をアダジ元サンパウロ市長に正式に変更しました。同党はアダジ氏へ投票することを呼びかけていますが、アダジ氏の支持率は足元の世論調査では10%にも満たない水準です。ルラ氏の支持票がどの候補者に流れるかが選挙結果を大きく左右しそうです。

【ブラジル・レアル 為替推移】

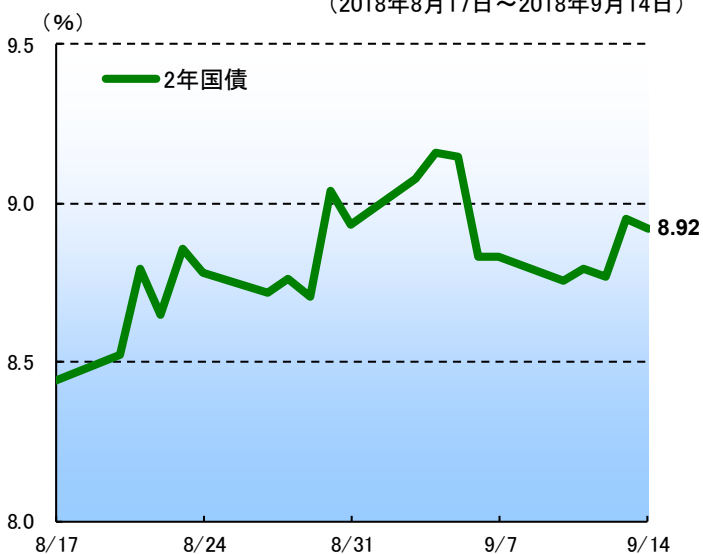
(2018年8月17日～2018年9月14日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2018年8月17日～2018年9月14日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>